

松本理論に衝撃を受け治療を開始。
治療費が高く中断することになったので、
SNSでアシクロビルの保険適用を訴えます。

「ヘルペス、アトピーの治療について」

匿名希望 50歳

2016年8月16日

私が松本医院を訪れるキッカケから書きたいと思います。2014年のお盆の頃ですから、ちょうど2年前くらいになります。ある日寝ていると、下あごの裏あたりに激痛が走りました。何もしていなければ痛みはありませんが、唾をのみ込む際、激痛が走ります。突然のことにパニックになりましたが、あくびをしたとたん、その痛みは消え去りました。今思えば、筋肉が攣っていたのだと思います。ただ、そんな場所が攣ること自体、経験したことも聞いたこともなかったので一体何が起こったのだろうと不安になりました。この症状はこの一回こっきりでしたが、翌日から違った症状が現れました。朝起きるととにかく腕がだるく、全く力が入らないのです。それまで肩こりなどしたこともなかったのに首回りが石のように硬くなって痛くてしょうがないのです。これは最初に起こったあごの裏の痛みと関係しているのだろうか？気になった私は耳鼻咽喉科を尋ねました。

上あごがカピカピに乾いており、その粘膜が何かの拍子でくっつくとき激しい痛みを発することがあるとのことで、おそらくそれだとの診断でした。薬をもらい飲み続けましたが基本何も変化はなく、直感的に「これは関係ないな」と思っていた私は、ネットで「首の痛み」「手の脱力感」などでいろいろ調べました。その結果「頰椎症」ではないかと思った私は整形外科に行き、これまで起こったことを全て説明しました。下あごの裏の痛みに関しては医師も「聞いたことがない」と言っていました。そのあとレントゲンを撮りましたが、骨には一切問題は無く、何種類か薬をもらって帰りました。その薬も飲みましたが、一向に症状はなくならず、たまに良くなったと思ったらまた繰り返す繰り返しでした。その後も整体に通ったりさまざまなことをしましたが根本的に改善する気配もなく、いつしかあきらめかけていました。

そして去年の9月頃、手の指がこわばり始めました。実は数年前にも一度同

様のことがあり、整形外科で検査してもらったところリウマチではないとの診断を受けたことがありました。しかしここ最近の不調もあり、もしかして本格的にリウマチになってきたのかもしれないと思いました。その時点での認識は「リウマチは一生治らない」というものでした。仮に自分がリウマチだったとして、本当に治らないのだろうか？どこかに治してしまうようなすごい医者があるのではないだろうか、必死で調べていたところ、偶然松本医院のHPにたどり着きました。

最初にHPを読んだ時の衝撃は今でも忘れられません。アレルギーに関する部分はもちろんのこと、一番衝撃を受けたのはヘルペスの部分でした。一見異端とも思える理論ですが、そのことごとくが理にかなっており、直感で「これは本物だ」と思いました。シャーロックホームズを書いたコナン・ドイルの言葉に以下のようなものがあります。「全ての不可能を消去して、最後に残ったものが如何に奇妙なことであっても、それが真実となる。」まさにこの心境でした。そして自分の身に起きているさまざまな不調はこのヘルペスに起因しているのではないだろうかと思いました。

私は神戸に住んでいるので、なんとか通うことは可能です。日曜日、さっそく朝一番に伺いました。みなさんも手記に書かれている通り、医院に入った瞬間のあの漢方の香り、自分は懐かしい感じがしました。みなさんの手記から先生はかなりパワフルな方だと想像できます。かなり緊張しながらの初診、先生は「なんでウチにきたんや？」と言われました。自分がリウマチではないかと思ったこと、これまでの治療経験、HPを見たことなどを説明すると先生は「ええか？そう簡単にリウマチにはならん。まず血液検査してみよう。」とおっしゃり、自分は軽度のアトピーだったこともあり、アトピー用の漢方薬、治打撲一方、アシクロビルを処方して頂きました。そして「大丈夫や、絶対治したる。」と力強く握手してくださいました。以前整体に行ったとき、そこの施術師に「自分たちは病気を治すなどというようなおこがましいことは口が裂けても言えない。」と言われたことがあります。整体師は医師ではないので「治る」などと言えないのは理解できるのですが、当時藁にも縋る気持ちだった自分にとっては絶望にも近い言葉でした。それに対して松本先生の「絶対治したる。」の言葉にどれだけ勇気づけられたことでしょうか。その後受診のたびに「ええか？病気は自分の免疫で治すんや。」と何度も言われ、自分もそう理解していますが、やはり最初のあの一言が自分にとって救いとなったことは間違いありません。

2週間後、検査の結果リウマチではありませんでした。そしてアシクロビルの効果が即座に現れてきました。左肩のゴリゴリが消え、首のガチガチと腕のだるさが楽になりました。これまでずっとどんなことをしても、一向に良くならなかった症状が、確実に変化しました。それと同時に「やはり松本理論は真実だ」と確信したのです。

あれから7ヶ月が経過しました。おかげさまで真っ黒になっていた皮がとれ、

アトピーはかなり良くなりました。ヘルペスのほうも症状が楽になったことで薬の量を減らして頂きました。最後に、実は6月を最後に私は受診していません。理由は経済的に限界がきてしまったからです。悲しいです。6月初旬、先生にそのことで相談させて頂き、鍼治療の回数を減らして頂きましたが、それでもやはり経済的に続けることが困難になってしまいました。その結果、もともとヘルペスの数値が非常に高かった（マックスの時にHSVが89.3、最後は56.3くらいでした。）私は、最近また症状が戻ってきているように感じます。医療費が高額になると言っても、そもそもこの薬によって病気が治ってしまうと製薬メーカーが困るという本末転倒な考えのせいでアシクロビルが保険対象外なのが間違っているのです。私は今後地道にブログでこのことを書いていきたいと思っています。そうすることで真実の医療が標準医療になることを願ってやみません。